

請願第10号

虐待の問題を抱えている子どもたちや家庭に対する支援体制の充実に関する請願

1 趣 旨

家庭内においては、虐待により深刻な問題を抱えながら生活している子ども達がふえている。この問題は、子どもの身体、情緒、行動、性格形成など、広範囲にわたって深刻な影響を与える。また、虐待の疑いがある家庭の家族の中には、虐待の事実を誰にも相談できず、どこに助けを求めていいかもわからず困っている人もいる。

県における児童相談所に寄せられた虐待相談数は、2018年度638件で2011年度は166件の3.8倍とふえている。しかしながら虐待対応に向き合う職員数はこの7年間で1.1倍しかふえておらず、たったの26人である。ふえていく虐待相談に十分な対応ができていない。

虐待の問題を抱えている子どもたちが、家庭において安心して過ごせ、心身ともに成長していくためには虐待対応に向き合う児童福祉司の増員が必要である。また、問題の解決のためには、子どもたちの支援にあわせて家庭への子育て支援や相談体制の充実を図っていくことが必要である。

そこで、下記のとおりに請願する。

記

虐待の問題を抱えている子どもたちが、心身ともに成長していけるように児童福祉司を増員してほしい。また、虐待が疑われる家庭への子育て支援や相談体制の充実を図ってほしい。

2 提 出 者

福井の教育をよくするための県民連合 会長 室田浩和

3 紹 介 議 員

西畑知佐代、辻一憲、北川博規、渡辺大輔、野田哲生、細川かをり

4 受 理 年 月 日

令和元年11月27日